

Japan
Cardiovascular
Research
Foundation

JCRF

2016

11

vol.5

財団季報



JCRF

公益財団法人
循環器病研究振興財団
Japan Cardiovascular Research Foundation

就任御挨拶

公益財団法人循環器病研究振興財団
理事長 北村 惣一郎



この度、公益財団法人 循環器病研究振興財団の第7代理事長に就任いたしました。

平成24年4月から当財団は、内閣府主管の公益財団法人に移行いたしております。多くの医学系研究支援財団が同様に公益財団法人となりましたが、これらは共通して財政的苦難の時代にあります。公益財団は収益事業を行わず、主に企業、個人等からの寄付金に基づき、多施設共同臨床研究等を支援しています。また多くの財団は資金の一部を運用し金利による収益増にも努力していますが、現在のようにゼロ金利時代では収益を望めない上に、大学もナショナルセンターも全て独立法人化し、自ら寄付を集め、公益、収益事業が行えるようになりました。これらの要因で寄付に依存する公益財団の運営が難しくなっています。一方、財団自身も自ら行う公益事業の認知度を挙げ、社会、企業、個人から「良い事業や確実な支援事業をしている」という評価を受けなければ、寄付も集まらないでしょう。私は理事長就任後、当財団の事業内容の透明性・認知度を高め、広報活動や御寄付を頂いた企業や個人の積極的顕彰をすすめています。また当財団は、設立当初から国立循環器病（研究）センターと共に歩んで参りましたが、センターの厚生労働省直轄組織から法人化への移行と共に財団の存在意義が減少していることも事実です。

しかし、循環器病研究振興財団である限り、国立循環器病研究センターと切り離しては存在できないとも感じています。センターの移転により当財団も平成31年6月で現在の図書館2階から移転しなければなりません。新事務所探しや移転費なども考えねばなりません。また、当財団は従来より単年度決算で事業を見ており、法人としての3~5年の中期計画がありませんでした。事業の継続が可能である計画がなにより必要です。私は当財団の移転計画・費用や人件費を含めた経費の削減の今後のあり方を「中期計画」として作成するよう事務方に指示しているところです。

最後に、私は微力ながら当財団の透明性、公益性、有益性を社会から評価して頂けるよう職員一同と共に努力して参る所存ですので、何卒、御支援の程宜しくお願い申し上げます。

表紙：動脈・静脈・リンパ管の3つの脈管を表す3本の線が、中心に1本、右に1本、後ろに1本、三本の線で配置され、柔軟で健康的な流れと、躍動的に活動する体を表現しました。
楕円を斜めに配置することで、爽やかな勢いを表しています。

平成 28 年度事業計画書

【1】助成事業

(123,065 千円)

1. 公募研究助成

(12,000 千円)

	助成名	研究テーマ	助成金額
1	バイエル循環器病研究助成	生活習慣病と血液凝固	@5,000 千円×1 課題=5,000 千円 @2,500 千円×2 課題=5,000 千円
		(熊本地震震災特別枠) 震災と血液凝固	@1,000 千円×1 課題=1,000 千円
2	循環器疾患看護研究助成	循環器疾患看護	@200 千円×5 課題=1,000 千円

2. 指定研究助成

(107,065 千円)

(個別研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 1,000 千円 H31 終了予定
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	宮本恵宏	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長	(継続) 5,000 千円 H30 終了予定
3	和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・糖脂質代謝へ与える効果の検討	柳本広二	国立循環器病研究センター研究所 分子病態部疾患分子研究室 室長	(継続) 3,000 千円 H29 終了予定
4	心房細動を合併する僧帽弁閉鎖不全症患者に対する低侵襲手術の臨床試験	小林順二郎	国立循環器病研究センター 副院長	(継続) 3,405 千円 H28 終了予定
5	大動脈手術に関する感染症の検討	湊谷謙司	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門・血管外科 部長	(継続) 4,110 千円 H28 終了予定

(多施設共同研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
6	虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (OGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS)	西村恒彦	京都府立医科大学 特任 (名誉) 教授	(継続) 28,500 千円 H29 終了予定
7	本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 (MAGIC 研究) - 心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として -	池田康夫	早稲田大学理工学術院 先進理工学部生命医科学科 教授	(継続) 5,000 千円 H29 終了予定
8	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	(継続) 31,515 千円 H29 終了予定
9	急性期脳出血への降圧を検討する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化臨床試験 (ATACH-II)	豊田一則	国立循環器病研究センター 脳血管部門脳血管内科 部長	(継続) 14,140 千円 H29 終了予定
10	様々な心血管疾患における酸化ストレスの関与に関する基礎および包括的大規模臨床検討	小川久雄	一般財団法人熊本循環器学会 理事長	(継続) 3,675 千円 H28 終了予定
11	アログリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPEAD-A)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 4,010 千円 H33 終了予定
12	シタグリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPIKE study)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 3,710 千円 H34 終了予定

3. 研究者・研修者助成

(4,000 千円)

	助成名	助成内容	助成金額
1	国内外研修派遣助成	国内外において実施される効率的な研修に派遣される医療技術者に対する助成	2,000 千円
2	国際協同研究等派遣助成	海外で開催される学会・協同研究等に派遣される研究者に対する助成	2,000 千円

【2】普及支援事業 (17,651千円)

1. 研究業績発表 (2,190千円)

(1) 研究業績集の発行 (160千円)

前年度に実施した研究助成（指定研究助成・循環器疾患看護研究助成）の研究成果をまとめ、国立病院・大学・研究所等へ配布する。

(2) 研究発表会の開催 (2,030千円)

研究発表会を開催し、前年度に実施した研究助成の研究成果を発表する。

①「バイエル循環器病研究助成」研究発表会

②「循環器疾患看護研究助成」研究発表会

③「日本光電循環器病研究助成」研究発表会

2. 学術活動支援 (4,750千円)

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

3. 移植医療支援 (2,000千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援（アグネス基金）

4. 予防啓発活動 (8,711千円)

(1) 小冊子 (8,201千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月にそれぞれ1万部発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布

（「知っておきたい循環器病あれこれ」発行予定表）

	タイトル	執筆者		発行予定日
116	大動脈瘤の治療	湊谷謙司	国立循環器病研究センター 心血管外科部門血管外科・部長	平成28年5月1日
117	もやもや病	高橋 淳	国立循環器病研究センター 脳神経外科・部長	平成28年7月1日
118	かるしおレシビ	高木洋子	国立宇多野病院 栄養士	平成28年9月1日
119	成人の先天性心疾患	白石 公	国立循環器病研究センター 小児科・部長	平成28年11月1日
120	薬と食事の関係	栗原 健	国立循環器病研究センター 薬剤部・部長	平成29年1月1日
121	胸の痛み	安田 聡	国立循環器病研究センター 副院長	平成29年3月1日

(2) 機関誌『季報』の発行 (170千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

(3) ホームページサービス事業 (<http://www.jcvrf.jp/>) (200千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募など

(4) 市民講座 (140千円)

疾患ごとにテーマを決めて、一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために講座を開催

(5) キャンペーン

阪神甲子園球場において財団PRと予防啓発

(6) 共催名義使用

第19回脳卒中市民シンポジウムおよび平成28年度脳卒中週間ポスター事業

〔主催〕公益社団法人日本脳卒中協会

【3】国庫補助金事業（特別会計Ⅰ）

(8,550千円)

(厚生労働科学研究推進事業費／循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策政策研究推進事業)

	事業区分	予算額	積算内訳
1	若手研究者育成活用事業	3,633千円	リサーチレジデント1名
2	研究成果等普及啓発事業	4,917千円	研究者向け研究発表会・一般向け研究発表会

【4】調査研究事業

(1,091,100千円)

(683,100千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
1	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサパン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE)	安田 聡	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員／国立循環器病研究センター・副院長	(継続) 225,000千円 H30終了予定
2	実地医家を対象とした非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリバーロキサパンの有効性と安全性に関する登録観察研究(GENERAL)	草野研吾	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員／国立循環器病研究センター・心臓血管内科部長	(新規) 374,200千円 H31終了予定
3	日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR)	安田 聡	国立循環器病研究センター副院長	(新規) 83,900千円 H31終了予定

※上記1の研究代表者は、平成28年5月に小川久雄氏から安田聡氏に交替。

※上記2の研究代表者は、平成28年4月に小川久雄氏から草野研吾氏に交替。

(受託契約研究助成から調査研究事業に区分変更分)

(408,000千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
4	アジア人における慢性心不全患者の心臓突然死発生率および危険因子に関する疫学的臨床研究(ASIAN-HF)	清水 渉	日本医科大学 内科学 主任教授	(継続) 7,300千円 H30終了予定
5	脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板併用療法の有効性及び安全性の検討(CSPS.com)	山口武典	国立循環器病研究センター 名誉総長	(継続) 260,700千円 H30終了予定
6	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIAにおけるリバーロキサパンの投与開始時期に関する観察研究(RELAXED)	峰松一夫	循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員会・選考委員／国立循環器病研究センター・病院長	(継続) 131,300千円 H29終了予定
7	定量SPECT機能画像計算パッケージの医療機器化と一般病院への提供支援	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 8,700千円 H28終了予定

(注) 4～7の研究は、従前、助成事業の受託契約研究助成に区分していたが、これらは受託契約による研究であるものの、研究者への助成を目的とする事業ではないことから、前期より財団の自主事業である調査研究事業に区分を変更したものである。

平成 27 年度事業報告書

平成 27 年度においては、助成事業、普及支援事業、国庫補助金事業、調査研究事業の 4 分野の事業を行った。

【1】助成事業

(138,560 千円)

1. 公募研究助成

(11,400 千円)

(1) バイエル循環器病研究助成

(10,000 千円)

【研究テーマ】動脈疾患と抗凝固療法 [応募数：19 課題]

[応募数：19 課題]

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	動脈硬化リスクを有する慢性心不全患者に抗凝固療法が炎症性バイオマーカーに及ぼす影響についての前向き探索的臨床研究	高濱博幸	国立循環器病研究センター 心血管内科部門 医師	2,500 千円
2	動脈硬化発症における FXa-PARs シグナルのマクロファージ活性化調節機構の解明	福田大受	徳島大学大学院医歯薬学研究所 循環器内科学分野 特任講師	2,500 千円
3	トロンピン活性化を促進する新しい凝固・血栓形成機構の解明	藤田佳子	信州大学医学部 生理学教室 助教	2,500 千円
4	アテローム血栓症の直接的抗凝固療法に繋がるブラークの血栓形成能の解明	山下 篤	宮崎大学医学部病理学講座 構造機能病理学分野 助教	2,500 千円

《研究発表会開催予定》 平成 28 年 9 月 23 日～25 日 (第 64 回日本心臓病学会学術集會内)

(2) 循環器疾患看護研究助成

(800 千円)

[応募数：4 課題]

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	先天性心疾患を経験した思春期女性のリプロダクティブヘルスに関する質的研究 ～恋愛・結婚・妊娠・出産について抱く思い～	中村真由美	東京大学大学院医学系研究科 健康科学看護学専攻 家族看護学分野 大学院生 博士課程	200 千円
2	集中治療室の看護師における点滴管理に対する教育プログラムの評価 -安全な点滴管理行動の習慣化を目指して-	山田利恵	三菱京都病院 3 階病棟 看護師長	200 千円
3	循環器専門 A 病院における院内心肺蘇生に関する後ろ向き観察研究	上園恵子	国立循環器病研究センター 医療安全管理室 医療安全管理者 看護師長	200 千円
4	左肋間開胸による人工血管置換術を受けた患者に対する NHF の効果	小澤周平	国立循環器病研究センター 看護師 看護師	200 千円

《研究発表会開催予定》 平成 28 年 12 月頃 (国立循環器病研究センター内)

(3) 日本光電循環器病研究助成

(600 千円)

【研究テーマ】 ①モニタのバイタルサイン管理における安全管理
②人工呼吸器における安全管理
③モニタとナースコール連携における安全管理

[応募数：4 課題]

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	ナースコールと連動した医用テレメーターシステム、及び携帯型受信機導入によるアラーム対応と業務改善の効果	中田祐二	高槻赤十字病院 医療技術部 臨床工学技士	200 千円
2	経皮的な心肺補助法の静脈血採血における新たな安全対策	吉田幸太郎	国立循環器病研究センター 臨床工学部 臨床工学技士	200 千円
3	人工呼吸器の遠隔監視システムの開発	湊 拓巳	大阪医療センター 医療技術部 臨床工学室 臨床工学技士	200 千円

《研究発表会開催予定》 平成 28 年 12 月頃 (国立循環器病研究センター内)

2. 指定研究助成

(127,160千円)

(個別研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 800千円 H31 終了予定
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	宮本恵宏	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長	(継続) 4,900千円 H30 終了予定
3	和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・糖脂質代謝へ与える効果の検討	柳本広二	国立循環器病研究センター研究所 分子病態部疾患分子研究室 室長	(継続) 4,000千円 H29 終了予定
4	心房細動を合併する僧帽弁閉鎖不全症に対する低侵襲手術の臨床試験	小林順二郎	国立循環器病研究センター 副院長	(継続) 2,000千円 H28 終了予定
5	大動脈手術に関する感染症の検討	湊谷謙司	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門血管外科 部長	(継続) 3,200千円 H28 終了予定

(多施設共同研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
6	電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究 (HOMED-BP)	今井 潤	東北大学大学院薬学研究所 医薬開発構想寄附講座 教授	(継続) 1,600千円 H27 終了
7	虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS)	西村恒彦	京都府立医科大学 特任 (名誉) 教授	(継続) 27,308千円 H29 終了予定
8	本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 (MAGIC 研究) - 心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として -	池田康夫	早稲田大学理工学術院 先進理工学部生命医科学科 教授	(継続) 2,000千円 H29 終了予定
9	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	(継続) 14,154千円 H29 終了予定
10	急性期脳出血への降圧を検討する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化臨床試験 (ATACH-Ⅱ)	豊田一則	国立循環器病研究センター 脳血管部門脳血管内科 部長	(継続) 57,577千円 H29 終了予定
11	様々な心血管疾患における酸化ストレスの関与に関する基礎および包括的大規模臨床検討	小川久雄	一般財団法人熊本循環器学会 理事長	(継続) 1,900千円 H28 終了予定
12	アログリブチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPEAD-A)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 4,010千円 H33 終了予定
13	シタグリブチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPIKE study)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 3,710千円 H34 終了予定

【2】普及支援事業

(11,845千円)

1. 研究成果発表

(1,428千円)

(1) 研究業績集の発行

(132千円)

前年度の指定研究助成および循環器疾患看護研究助成による研究成果をまとめて大学・研究所等へ配布

(2) 研究発表会の開催

(1,296千円)

研究発表会を開催し、前年度の公募研究助成 (バイエル循環器病研究助成・循環器疾患看護研究助成・日本光

電循環器病研究助成) の研究成果を発表

	内 容	内 容	助成金額
1	バイエル循環器病研究助成研究発表会	・テーマ： 深部静脈血栓症 ・会 場： 第56回日本脈管学会総会 (東京) ・日 時： 平成27年10月30日 (金) 14:30~16:00	1,116千円
2	循環器疾患看護研究助成研究発表会 (第12回) 日本光電循環器病研究助成研究発表会 (第4回)	・会 場： 国立循環器病研究センター・図書館講堂 ・日 時： 平成27年12月4日 (金) 15:00~18:00 ・特別講演： 『不整脈診療今昔-すっかり変わってしまったなあ-』 【講師】 鎌倉史郎 (国立循環器病研究センター臨床検査部長)	180千円

2. 学術活動支援

(1,900千円)

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

(小規模研究)

	研究課題	研究代表者	所属・職名	助成交付額
1	高血圧治療におけるレザルタスの有効性に関する研究	岩嶋義雄	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医長	950千円
2	D-SPECT 日本人正常マップ策定の為の多施設共同研究	木曾啓祐	国立循環器病研究センター 放射線部 医長	950千円

3. 移植医療支援等事業

(351千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援 (アグネス基金)

	支援名	内容	助成交付額
1	第13回心臓移植患者連絡会 (CoCoRo会)	・会長：国立循環器病研究センター・理事長 橋本信夫 ・会期：平成27年11月14日(土) ・会場：国立循環器病研究センター	351千円

4. 予防啓発活動

(8,166千円)

(1) 小冊子

(7,764千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月にそれぞれ1万部発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布

	タイトル	執筆者	発行日
110	食塩と高血圧と循環器	河野雄平 帝京大学福岡医療技術学部 医療技術学科長・教授 (元・国立循環器病センター部長)	平成27年5月1日
111	心房細動といわれたら-その原因と最新の治療法	鎌倉史郎 鎌倉 令 国立循環器病研究センター 臨床検査・心臓血管内科不整脈部長 心臓血管内科不整脈・医員	平成27年7月1日
112	脳卒中の言語リハビリテーション -家庭で効果を上げるには-	大島明子 国立循環器病研究センター 脳血管リハビリテーション科 主任言語聴覚士	平成27年9月1日
113	弁膜症外科治療の最前線	藤田知之 小林順二郎 国立循環器病研究センター・心臓外科・ 部長/国立循環器病研究センター副院長	平成27年11月1日
114	脳出血最新情報と対処法	吉村壮平 国立循環器病研究センター 脳血管内科 医員	平成28年1月1日
115	肺炎・・・予防・治療のポイント	佐田 誠 国立循環器病研究センター 感染対策室 医長	平成28年3月1日

(2) 機関誌『季報』の発行

(135千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

(3) ホームページの運営 (http://www.jcvrf.jp)

(194千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募案内など

(4) 市民健康セミナー

(73千円)

疾患ごとにテーマを決めて、一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために講座を開催

	講座名	内容
1	ダイワの健康セミナー 「認知症予防の秘訣」	・日時：平成27年11月18日(水) 13:30~14:30 ・会期：北千里 dios 2階/レンタルスペース (ミーティングルームM2) ・講師：国立循環器病研究センター脳神経内科・医長 猪原匡史

(5) キャンペーン

阪神甲子園球場のオーロラビジョン、ライナービジョンで財団のPRと予防啓発を行った。

(6) 共催・後援名義使用

(共催)

	催し物	主催者	日時・場所
1	第18回脳卒中市民シンポジウム 平成27年度脳卒中週間ポスター	公益社団法人日本脳卒中協会 理事長 山口武典	・平成27年5月31日(土) ・いわて県立情報交流センター
2	平成27年度第1回健康講演会 『生活習慣病予防のための正しい知識 と運動療法』	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長 宮本恵宏	・平成27年11月28日(土) ・国立循環器病研究センター講堂

(後援)

	催し物	主催者	日時・場所
3	第12回国循環市民公開講座 『お母さんとこどもの心臓病 Part.2』	国立循環器病研究センター 理事長 橋本信夫	・平成27年8月22日(土) ・梅田スカイビル
4	第13回国循環市民公開講座 『みんなで防ごう動脈硬化! ~あなたとあなた の大切なひとのために~』	国立循環器病研究センター 理事長 橋本信夫	・平成28年1月23日(土) ・朝日生命ホール

【3】国庫補助金事業(特別会計I)

(8,551千円)

(厚生労働科学研究推進事業費)

	事業名	内容	助成交付額
1	若手研究者育成活用事業	リサーチレジデント1名	3,807千円
2	研究成果等普及啓発事業	・一般向け研究発表会(2件) ・研究者向け発表会1日間(30課題)	4,744千円

【4】調査研究事業

(894,936千円)

(557,658千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
1	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサパン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE)	小川久雄	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員/国立循環器病研究センター・理事長	(継続) 407,337千円 H30終了予定
2	実地医家を対象とした非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリバーロキサパンの有効性と安全性に関する登録観察研究(GENERAL)	小川久雄	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員/国立循環器病研究センター・理事長	(新規) 126,411千円 H31終了予定
3	日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR 前向き研究)	安田 聡	国立循環器病研究センター 副院長	(新規) 23,910千円 H31終了予定

(受託契約研究助成から調査研究事業に区分変更分)

(337,278千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
4	アジア人における慢性心不全患者の心臓突然死発生率および危険因子に関する疫学的臨床研究(ASIAN-HF)	清水 渉	日本医科大学 内科学 主任教授	(継続) 5,837千円 H30終了予定
5	脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板併用療法の有効性及び安全性の検討(CSPS.com)	山口武典	国立循環器病研究センター 名誉総長	(継続) 187,755千円 H30終了予定
6	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIAにおけるリバーロキサパンの投与開始時期に関する観察研究(RELAXED)	峰松一夫	循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員会・選考委員/国立循環器病研究センター・副院長	(継続) 134,298千円 H29終了予定
7	定量SPECT機能画像計算パッケージの一般病院への提供支援	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 9,387千円 H28終了予定

(注) 4~7の研究は、従前、助成事業の受託契約研究助成に区分していたが、これらは受託契約による研究であるものの、研究者への助成を目的とする事業ではないことから、当期より財団の自主事業である調査研究事業に区分を変更したものである。

当財団の主な事業の概要

1. 助成事業

循環器病に関する医学研究及び看護研究等に対して研究を助成するものです。研究助成事業には、下記の事業があり、研究終了後には、研究結果発表会の開催及び研究業績集の発行など、循環器病に関する基礎的・臨床的研究の発展に寄与するものです。

(1) 公募研究助成

- ①ハイエル循環器病研究助成
- ②循環器疾患看護研究助成
- ③日本光電循環器病研究助成
- ④公募自由課題研究助成

(2) 指定研究助成

- ①個別研究
- ②多施設共同研究

(3) 研究・研修者助成

- ①国内外研修者助成
- ②国際協同研究者助成



2. 普及支援事業

循環器病に関する研究の成果、循環器病に関する情報、循環器病の予防・治療など最新情報を広く一般に公開しており、下記の事業を行っています。

- ①研究業績集発行及び研究成果発表会
- ②学術活動支援
- ③移植医療支援
- ④予防啓発と普及
- ⑤機関誌の発行及びホームページサービス



3. 国庫補助金事業

厚生労働科学研究費の「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究推進事業」を担当しており、

- ①若手研究者育成活用
 - ②研究成果等普及啓発
- を行っています。

4. 調査研究事業

循環器病に関する調査研究を当財団の自主事業として行うものです。



循環器病制圧キャンペーン

第29回循環器病チャリティーゴルフ

■ゴルフ大会

去る10月1日（土）、兵庫県西宮市のよみうりカントリークラブにおいて恒例の循環器病チャリティーゴルフが開催されました。この大会は、読売グループ4社（読売新聞社、読売テレビ、報知新聞社、読売ゴルフ）の主催並びに厚生労働省をはじめ近畿圏の各自治体、各医師会の後援により行われています。今年で29回目を迎え、35社からご協賛頂き、149名が参加されました。



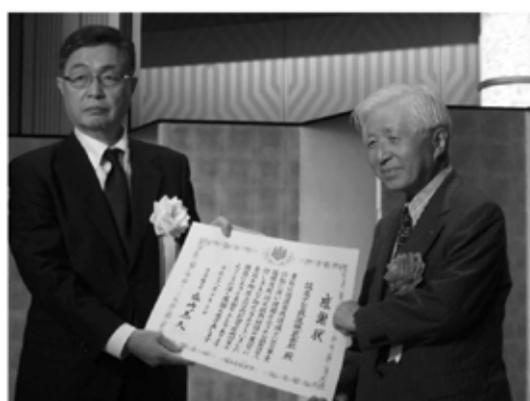
■講演会・表彰式・基金贈呈式

10月3日（月）、ホテルニューオータニ大阪において記念講演会・表彰式・基金贈呈式が行われました。記念講演会では、「コレステロールと上手につき合うには」と題して、国立循環器病研究センター研究所・病態代謝部長の斯波真理子先生にご講演頂きました。（要旨は次ページ）

講演会のあとはゴルフ大会の表彰式が行われ、個人賞及び団体賞などの表彰がありました。

最後に、伝川幹・循環器病チャリティーゴルフ運営委員会委員長（読売テレビ代表取締役社長）より北村惣一郎理事長にチャリティー基金の贈呈があり、今年は1035万円をご寄付頂きました。続いて、川島康生顧問から伝川幹・読売テレビ代表取締役社長に厚生労働大臣感謝状を授与させて頂きました。

来年度は第30回の節目になりますので、盛大に開催されることを期待しています。



【第29回循環器病チャリティーゴルフ記念講演会】（要旨）

『コレステロールと 上手につき合うには』

国立研究開発法人国立循環器病研究センター
研究所 病態代謝部 部長 斯波真理子



1. コレステロールとは？

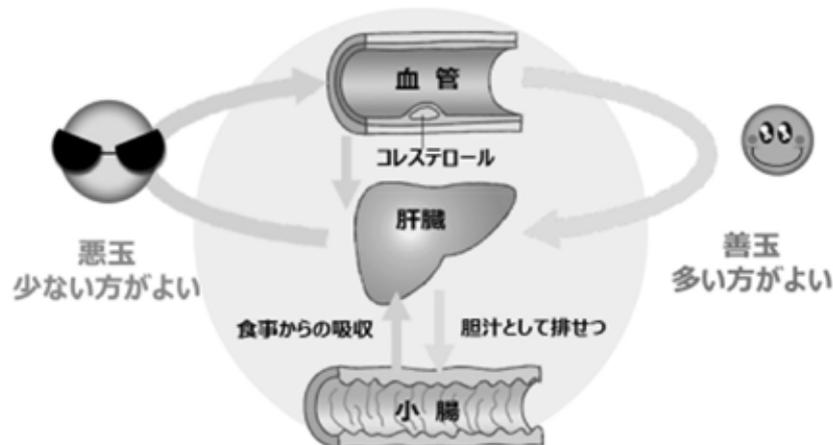
コレステロールは、

- ①細胞膜を補強する成分として、②男性ホルモンや女性ホルモン、副腎皮質ホルモンなどの、ステロイドホルモンを合成する原料として、
- ③消化吸収に必要な胆汁酸の原料として、身体の中で重要な働きを担っています。

血液中のコレステロールはリポタンパクという形で存在し、コレステロールなどの脂質を必要に応じて運搬しています。このコレステロールを運搬しているリポタンパクは、悪玉コレステロールと善玉コレステロールに分けられます。

悪玉コレステロールは、肝臓で合成され、分泌されて、全身にコレステロールを運んでいます。全身に運んだあと、善玉コレステロールは、肝臓に帰ってきます（図1）。血液中の悪玉コレステロールが多くなりすぎると、動脈硬化が進行して、血管が詰まりやすくなり、心臓を養っている動脈が詰まると、心筋梗塞、脳へ行く血管が詰まると脳梗塞という病気になります。

図1. コレステロールはどこでできてどこへ行くのか



2. 悪玉コレステロール、善玉コレステロールは、どのくらいにすればよいのか？

普通の検査では、「正常値」というものがあるが、その範囲を超えると異常とされます。善玉コレステロールは、40mg/dL 以上が正常値です。一方、悪玉コレステロールである LDL-C 値をいくらにコントロールするかは、各個人の動脈硬化のリスクに応じて決まっています。動脈硬化のリスクとは、糖尿病、高血圧、慢性腎臓病、低 HDL-C 血症、また、すでに狭心症や心筋梗塞、末梢動脈疾患などを発症していることなどです。例えば、すでに狭心症や心筋梗塞を起こしている人の LDL-C 値は、100mg/dL 未満が目標値です。また、糖尿病や慢性腎臓病などがあれば、120mg/dL 未満とされています。図2に目標値を示します。主治医の先生から、ご自分のリスクをお聞きになり、LDL-C 値が適切な値になっているかどうかを確かめましょう。

図2. コレステロールはどのくらいにすればよいの？

動脈硬化のリスク	脂質管理目標値	
	LDL-C	HDL-C
低リスク	<160	≥40
中リスク	<140	
高リスク	<120	
冠動脈疾患の既往	<100	

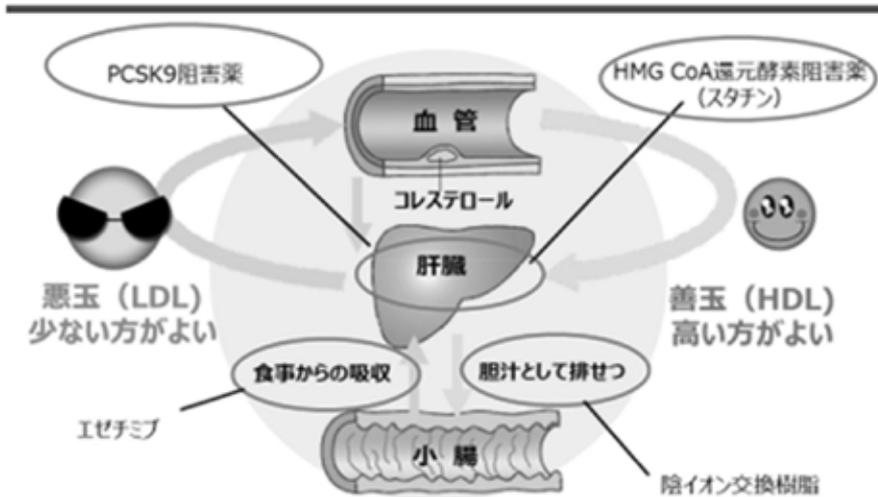
動脈硬化性疾患診療ガイドライン2012年版、日本動脈硬化学会



3. コレステロールを下げて動脈硬化を予防しよう

悪玉コレステロールを下げるには、食事療法、運動療法のほかに、薬物療法があります。悪玉コレステロールを減らす薬は、図3に示すように、沢山あります。小腸からコレステロールの吸収を阻害する薬（エゼチミブ）、肝臓でコレステロールの合成を阻害する薬（スタチン）、胆汁としてコレステロールを排泄する薬（レジン）などがあります。また、最近、悪玉コレステロールを肝臓で取り込む LDL 受容体分解を担う、PCSK9 を阻害する薬が発売されました。PCSK9 阻害薬は注射薬で、2週間に1回、皮下注射するものです。これまで、内服薬で LDL コレステロールがコントロールできなかった、重症の高コレステロール血症の患者さんでも、コントロールできるようになりました。

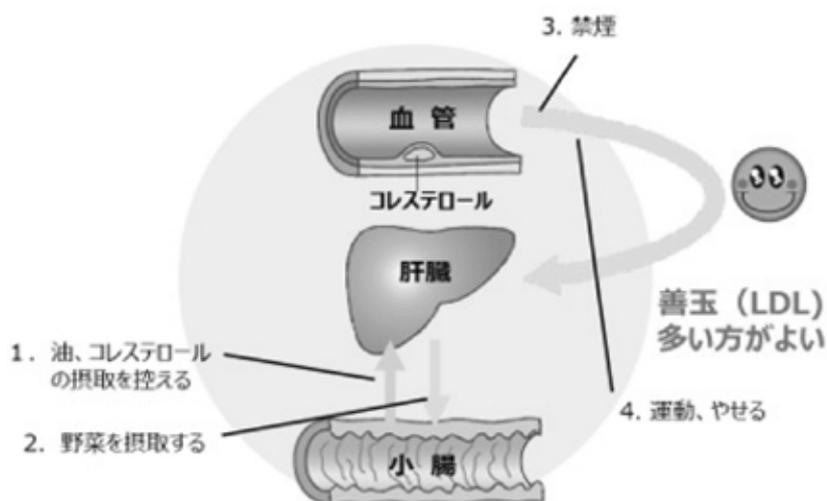
図3 悪玉コレステロールを減らす薬剤



4. 善玉コレステロールを増やす

善玉コレステロールを増やす薬剤は、ありません。これまで善玉コレステロールを増やす薬剤がいくつか開発がされていますが、心血管イベントを予防できると証明できた薬剤はありません。そのため、善玉コレステロールを増やすには、生活習慣を改善するほかに方法がありません。図4で示すように、食事の油、コレステロールを控えること、毎食、野菜を摂取すること、禁煙をすること、定期的な運動をすることなどが、HDL-C値を上げるとされています。生活習慣を見直して、改善に努めましょう。

図4 善玉コレステロールを増やすには？



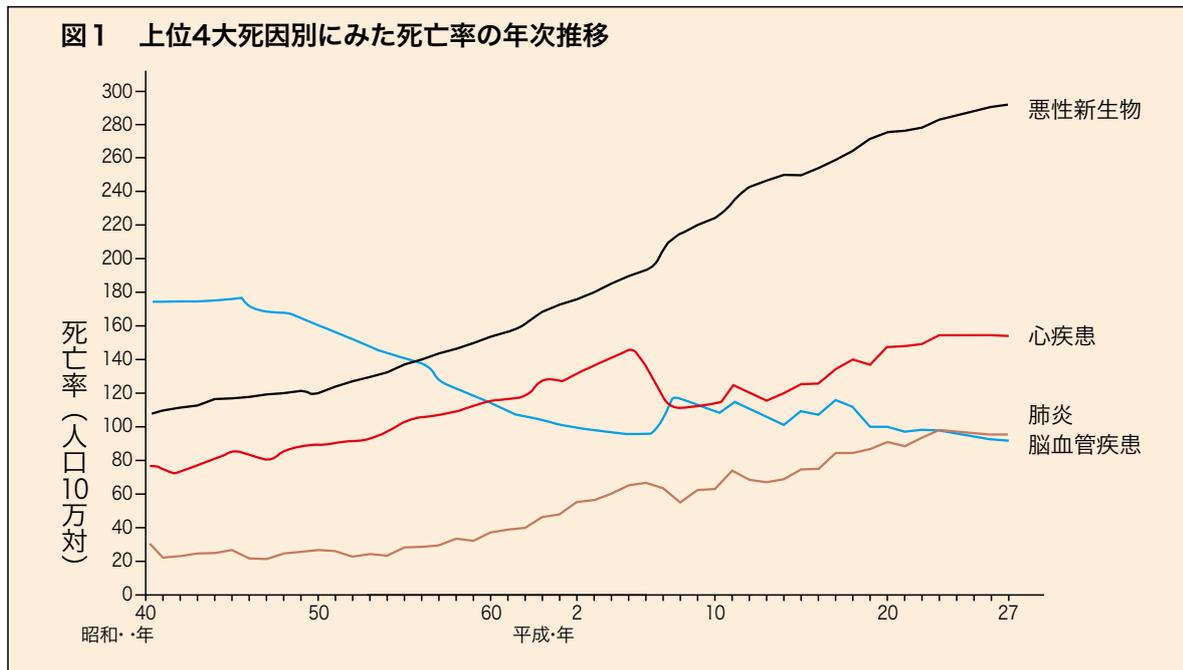
循環器病をめぐる統計（死亡率）

厚生労働省が発表した平成27年人口動態統計(*)によると、上位4大死因別「**悪性新生物**、**心疾患（高血圧を除く）**、**肺炎**、**脳血管疾患**」による死亡者数、死亡率（人口10万対）及び全死亡者に占める割合について、平成26年と対比してみると表1のとおりである。また、上位4大死因別死亡率の年次推移は図1のとおりである。
 (*) 先般発表された年間確定数は、実数及び分母に人口を用いない諸率のみ公表されているので、ここでは月報年計（概数）の諸計数を用いて作成している。

表1 上位4大死因別による死亡者数、死亡率及び全死亡者に占める割合

	平成27年度			平成26年度		
	死亡者数	人口10万対死亡率	全死亡者に対する割合	死亡者数	人口10万対死亡率	全死亡者に対する割合
悪性新生物	370,131人	295.2	28.7%	368,103人	293.5	28.9%
心疾患	195,933	156.3	15.2	196,925	157.0	15.5
肺炎	120,846	96.4	9.4	119,650	95.4	9.4
脳血管疾患	111,875	89.2	8.7	114,207	91.1	9.0
その他	491,643	392.3	38.0	474,119	377.9	37.2
全死因	1,290,428	1,029.4	100.0	1,273,004	1,014.9	100.0

図1 上位4大死因別にみた死亡率の年次推移



注：

- 平成6・7年の**心疾患の低下**は、死亡診断書（平成7年1月施行）における「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの影響によるものと考えられている。
- 平成7年の**脳血管疾患の上昇**の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられている。
- 平成9年までは、**心疾患と脳血管疾患**による合計死亡者数は、悪性新生物による死亡者数を上廻っていたが、平成10年以降では若干下廻る結果となっている。悪性新生物（特に肺がん・結腸・膵）による死亡者数の上昇傾向が大きく影響している。



知っておきたい
循環器病あれこれ



公益財団法人循環器病研究振興財団へのご寄付

平成 27 年 11 月から平成 28 年 10 月末までにご寄付を頂いた皆様のご芳名を記し、心より厚く御礼申し上げますとともに、今後ともご支援のほどお願いいたします。(順不同)

〔個人〕

大窪天三幸 様 新保誠敏 様 岡田重徳 様 高松孝之 様 江津国一 様 山内 進 様
富士居榮二 様 坂本勇雄 様 庵田正二 様 北尾吉孝 様

〔法人〕

環産業株式会社 読売テレビ放送株式会社 バイエル薬品株式会社 テルモ株式会社
一般社団法人日本血液製剤機構 日本メジフィジックス株式会社 興和創薬株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 小野薬品工業株式会社 サノフィ株式会社
日本メドトロニック株式会社 センチュリーメディカル株式会社 大和証券株式会社
一般財団法人化学及血清療法研究所 MSD 株式会社 日本ライフライン株式会社
社会医療法人卓翔会 小西医療器株式会社 エドワーズライフサイエンス株式会社
アステラス・アムジェン・バイオフーマ株式会社 大日本住友製薬株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 株式会社ジェイ・エム・エス

※公表についてご承諾頂いた方を掲載させて頂いております。

 かざして募金

「かざして募金」はソフトバンク（株）が提供するスマートフォンから簡単な操作でご寄付いただけるサービスです。

「かざして募金」のアプリをインストール、起動後、本季報の表紙を撮影（画面をタップ）して頂くと寄付画面に移行しますので、ご寄付額を選択してください。
ご寄付額は、携帯電話の料金と一緒に支払い頂けます。
また、下記 QR コードを読み取って頂くと、アプリのインストールをすることなく寄付画面にお進み頂けます。

※ Softbank スマートフォン以外の方は、クレジット決済になります。
※ 1,000 円以上のご寄付については、領収書の発行にも対応させて頂きます。
希望される場合は、ご寄付のお申込み後、「団体からの領収書を希望する」ボタンを押し、お手続きください。



SoftBank の
スマートフォン



SoftBank 以外の
スマートフォン